

谷口かずふみ 県政ジャーナル



谷口かずふみ 県政ジャーナル 発行 / 2025年 冬号 発行責任者：公明党 神奈川県議会議員 谷口かずふみ

神奈川県議会、補正予算案など可決

神奈川県議会は10月14日の本会議で、一般会計に42億900万円を追加する2025年度9月補正予算案など22議案を可決・同意しました。

米国の関税措置や日産自動車の生産縮小によって経営に影響を受ける中小企業への支援として、16億5392万円を計上。神奈川産業振興センター（KIP）が行う経営相談やセミナーへの補助を通じた業態転換支援などを行います。

物価高騰などにより経営が悪化している病院への支援として、26億8153万円を措置。公立や民間の救急病院計196カ所への給付金支給などに取り組みます。

このほか、教育委員会委員に吉田勝明氏を再任し、収用委員会委員に伊沢一美氏を再任、三浦大介氏を新任する人事案に同意しました。

神奈川県議会インターネット議会中継

公明党代表質問▶



綾瀬児童相談所がオープン



「綾瀬児童相談所」が10月1日に開所しました。

それに先立つ、9月7日、神奈川県議会副議長として、竣工式に出席。挨拶をさせていただきました。

県では現在、政令市3市と横須賀市を除く地域で、6つの児童相談所（児相）を運営しています。そのうちの一つが、「大和綾瀬地域児童相談所」でした。

もともと大和市は中央児相（藤沢市内）、綾瀬市は厚木児相（厚木市内）が所管していましたが、相談数が激増するなかで、3年前に大和市と綾瀬市で一つの児相をつくることになりました。ただ、すぐに施設を整備できないため、中央児相の一部をお借りして運営していました。

私は、「一日も早く地元に整備してほしい」と要望してきましたが、10月1日から綾瀬市内で運営が始まりました。

新しい施設は、「相談者に優しい児相」をコンセプトにしており、内装は温かみのある色を随所に使ってています。子育てなど、安心して相談できる施設が整いましたので、今後は、より手厚い人員確保などに取り組んでいきたいと思います。